

札幌 市民防災

第23号

令和2年10月31日
札幌市民防災団体連合会

発行責任者 田畑 隆二

令和2年度

札幌市民防災団体連合会総会中止のお知らせ

日頃より、市民防災団体連合会会員の皆様には活動にご理解ご協力を賜り心より厚くお礼申し上げます。

例年6月に開催されております総会にむけて準備を進めて参りましたが、4月12日に「北海道・札幌市緊急共同宣言」新型コロナウイルス感染拡大防止等から中止させていただきました。会員の皆様には大変ご迷惑をおかけしておりますが書面決議とさせていただきます。

何卒事情ご賢察の上ご了承賜りますようお願い申し上げます。

一日も早く新型コロナの終息を祈っています。



防災と新型コロナウイルス感染症

札幌市危機管理対策室長 萩田 葉一

札幌市民防災団体連合会の皆さまにおかれましては、日頃から札幌市の防災行政にご理解とご協力を賜り、とりわけ、地域の防災活動に先進的に取り組まれ、全市への普及にご尽力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

今年は、新型コロナウイルス感染症の流行により、私たちの生活は、緊急事態宣言による外出自粛や、3密の回避をはじめとする「新しい生活様式の実践」が求められるなど、大きな影響を受けています。

さらに追い打ちをかけるように、7月には、九州や岐阜、長野など、西日本と東日本の広い範囲で大雨による洪水や土砂災害が発生し、新型コロナウイルス感染症が流行する中、多くの方々が避難生活を余儀なくされました。

札幌市でも、新型コロナウイルス感染症対策を講じた避難所運営が、混乱なく行えるよう、避難所運営マニュアルを改訂し、受付での検温実施や、一般の避難者と濃厚接触者及び発熱・咳などの症状のある避難者の滞在スペースの分離などを新たに追加し、7月中旬には、札幌市危機管理対策室及び市内全区役所の防災担当職員が参加し、新たな避難所運営マニュアルに基づいた訓練を実施いたしました。

今後も、災害発生時の被害を最小限に抑えるために、札幌市の災害対策に万全を期すとともに、市民、地域、企業など様々な主体と行政が連携・協力して支えあう防災協働社会の実現を目指して参ります。

札幌市民防災連合会におかれましては、今後益々のご発展と、会員皆さまのご健勝、ご活躍を心からご祈念申し上げますとともに、引き続き札幌市の防災行政に特段のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



コロナ禍の中の安心まちづくり

札幌市民防災団体連合会 会長 田畑隆二

日頃から、地域防災活動されている会員の皆様には、心から敬意を表します。

さて、今年は「新型コロナウイルス」の流行で今までの生活が一変する事態となっております。沈静化するにはまだまだ時間が掛かる事と思われまます。

しかしながら、このコロナ禍の中、いつ・どこで起こるか分からない災害（近年は特に風水害）に対しての備えや準備をして行かなければなりません。会員皆様がそれぞれの立場で、地域防災活動の結集することが、地域の安全・安心のまちづくりに必要と思われまます。

当会も、会員皆様に各種防災活動情報の発信や、札幌市との連携によるコロナ禍における収容避難場所運営についてのセミナー実施を目指しております。会員の皆様におかれましても、コロナ感染の無い様ご注意ください様お願い申し上げます。

令和2年度 札幌市総合防災訓練

札幌市は「防災の日」9月1日北区東茨戸ホテル「シャトレゼガトーギングダムサッポロ」を主会場に総合防災訓練を行いました。

今迄に体験したことのない新型コロナウイルスの流行を受け、感染対策をした避難所運営の訓練に地元住民参加、市や陸上自衛隊、道警、開発局、北区連合町内会など19団体320人が参加し、台風が北海道に上陸し、風水害が発生した想定で行われました。

令和2年度 札幌市総合防災訓練に参加して

拓北・あいの里連合町内会 防災部長 藤原悟史

当地区では、「ひまわり連合自治会防災会」が牽引役となり、傘下51の町内会を5つのブロックに分け、毎年防災避難訓練を実施してきたところですが、今年はコロナ感染症対策のため、やむなく中止となりました。この度、市から参加の要請を頂いた「市総合防災訓練」に感染症対策が盛り込まれていたことに大変興味を持ち、地区内の15名で参加しました。

訓練では、避難者として且つ、感染症濃厚接触者役を体験しました。避難所入口に検温所が設置され、その場で「保健所から濃厚接触者であることを通知された」旨を伝えると、一般避難所とは別の受付へ案内され受付を済ました後、専用の待機室へ誘導されました。この間の導線は、一般避難者と決して交わる事が無く設定されていました。私の地区の避難所に置き換えると、どの様に実現するのか？現在の避難所入口に検温所を設けたとして、隔離すべき感染症被疑者専用の導線を、どう確保するのか「至難の業」に思えます。また、一般避難者の待機場所は密を避けるため、各家族間を2m程度離して配置する事になり、収容人数は従来より大きく減少する事になりそうです。従来の訓練では、単に基幹避難所への避難を訴えて来ましたが、今後は避難先の選定判断についても学習しておく必要性を感じました。私は、今年の7月に防災部長を拝命したばかりで、勉強すべき事がたくさんありますが、「人と縁が調和する やさしく 支え合うまち 拓北・あいの里」を目指して頑張ります。



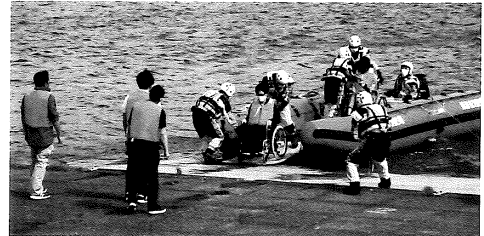
避難所運営訓練では入り口の受付前で市職員による、避難所役に発熱の有無の確認、体験

水害孤立住民救出訓練に参加して

豊平区地域安全担当 係長 田 辺 道 郎

今年度、道内で初めて白石消防署に高機能救命ボート（最大積載量約2t、定員20名）が導入されたことに伴い、茨戸川流域で外水氾濫が発生し、逃げ遅れた住民がいるとの想定で、孤立した車いすの要配慮者を含む住民を、白石消防署の高機能救命ボートと広域消防相互応援協定に基づく石狩消防署の救命ボートで救助する訓練が行われ、避難者役として参加しました。

白石消防署の高機能救命ボートは総務省消防庁より貸与を受けたものとのことで、一般的なボートの定員が6人に対し、最大20名の乗船ができるほか、船首のパネルが開閉し、人や機材の積み下ろしが簡単にできる構造で、車いすごと救助することが可能となっており、近年頻発する風水害時に浸水被害で逃げ遅れた住民の迅速な救助が期待されています。



防災訓練に参加して

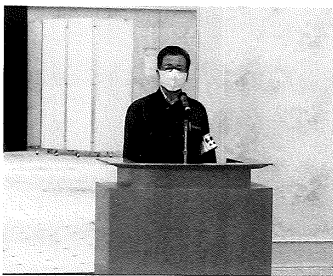
札幌市国際部国際交流員 オリヴァー・ギール

私は、バスの中で、足を怪我した外国人の役で、訓練に参加しました。日本語がわからないつもりで、救急隊員の方と接しました。素早くバスから救出してくれたこと、訓練なのにとっても真剣に取り組んでいたことはとても素晴らしいと思います。ただ、翻訳機械である「ボイストラ」がうまく機能せず、私の年齢や、怪我をした状況についてうまくコミュニケーションを取ることができませんでした。原因の一つとして、日本語は、主語を省略して話すということがあるのかもしれない。例えば、日本語で「怪我はありますか」と聞かれた時、ボイストラは「私は怪我をしています」と、救急隊員の方が怪我しているように、翻訳しました。英語やドイツ語では、「あなたは、怪我をしていますか」と聞きます。「あなたは」を省略してしまうことでうまく翻訳できない時があります。今は、携帯電話のアプリなどで翻訳できる機能があります。とても便利なものではありますが、誤訳を防ぐために、主語や日本語の特徴に注意するとうまくいくかもしれません。防災訓練に参加して「備えあれば憂いなし」という言葉を教えてもらいました。訓練が終わってから、避難場所の確認をしたり、水を多めに購入したり、少しですが備えをはじめました。災害は起きないのが一番ですが、災害が起きたとき落ち着いて行動できる準備をしたいと思います。



翻訳アプリケーション「VOICE TRA」(ボイストラ)を利用した外国人負傷者とのコミュニケーション

札幌 秋元克広市長 講評



近年、全国的に大雨や豪雨による自然災害が相次いで発生し、とりわけ、九州地方をはじめ、広範囲に甚大な被害をもたらした、「令和2年7月豪雨災害」は記憶に新しいところです。

本日の訓練は、このように全国各地で発生している水害を想定し、自衛隊、警察、消防など、関係機関が連携して倒壊した家屋から救出を行う訓練や、地域の皆さまが協力して障害物の除去や避難路を確保する訓練などを行いました。また、屋内の訓練会場では、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難所開設・運営訓練を実施し、避難所運営の対応力向上に繋がったと思います。

そして何より、円滑な避難所運営には、地域住民の皆様のご協力が必要不可欠ですので、ご協力をお願いいたします。加えて、災害発生時にとるべき行動を日頃からお考えいただき、「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識で、地域が一体となって安心して暮らせるよう取り組んでいただくことをご期待申し上げます。

札幌市としましては、継続して災害に強いまちづくりに向けた取組みを進めてまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

行政で対応出来ないことは町内会から

豊平区西岡見晴町内会 会長 渡辺 恵美子

当町内会では新型コロナウイルス感染症の感染が未だ拡大している状況をふまえ会員世帯にマスクを配布しました。

実施概要

町内会では高齢者、1人暮らし世帯が多く、購入に対して若い人は車や徒歩範囲で行く？その他の方は購入に困っている為、役員会で町内会での対応を提案したところ役員一同の同意を得ることが出来ました。

一世帯5枚ずつ布マスク（日本製）既製品購入の物ではなく注文、又製法についても豊平区内北海道リハビリに製作依頼し特注品を全世帯に配布いたしました。

配布方法は、町内会役員が一軒ずつ訪問、特に1人暮らしの方については会長、民生委員が安否確認をかねて配布しました。町内会活動において地域住民と接する機会の多い役員、国勢調査員、交通安全街頭啓発、ゴミステーション、公園清掃者、スクールガード等の方々には追加5枚ずつ配布しました。

会員の皆様方から特注品の良いマスクを頂いたと大変喜ばれています。早速未加入者から加入申し込みがあります。

※町内会名入りジャンパーを特注し、活動の折着用

※パートナーシップ実証実験モデル地区として選ばれ町内会では排雪以前に融雪構、リハビリ送迎バス利用者を調査し業者と事前打合せをし、排雪に時間がかからないように協力しております。

町内生活道路階段に車通行不可（蛍光版）の看板を設置し事故発生防止に協力していただいております。



緑ヶ丘町内会防災だより

会長 矢萩 弘志

Disaster Prevention Information みんなで取り組む、災害に強い緑ヶ丘町内会!!

特集「新型コロナウイルス感染症状況下の避難行動」について

新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも災害時には、危険な場所にいる人は避難することが原則です。

知っておくべき5つのポイント

- 避難とは「難」を「避」けること。安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。
- 避難先は、小中学校・公民館ではありません。安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。
- マスク・消毒液・体温計が不足しています。できるだけ自ら携行してください。
- 市町村が指定する避難場所、避難所が変更・増設されている可能性があります。災害時には市町村のホームページなどで確認してください。
- 豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認してください。

内閣府「新型コロナウイルス感染症を踏まえた災害対応のポイント(第1版)」より引用

編 集 後 記

秋も深まり朝夕日1日と寒さ感じる季節と成りましたが、今年は今迄体験したことのない新型コロナウイルス感染症により各町内会行事が中止と成り役員の皆様も大変だったことと思います。又毎年町内会行事を楽しみにしていた方々も残念な年だったと思いますが来年こそはコロナも一日も早く終息し、住民が明るく過ごせる年であってほしいと思います。健康には十分気をつけ、又ストーブを利用する季節に成りますので火災には十分気をつけましょう。

副会長 広報部長 渡辺 恵美子 FAX・TEL 011-851-9583番

市町内会加入世帯・世帯人数 673,613世帯

印刷所 北晃社 齋加印刷所
札幌市西区八軒1条東5丁目
電話 011(631)1271